

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業評価シート							平成 29 年度事後評価・決算		所管課		農水産課		担当班	農業基盤整備班
事務事業名			コード	24700 農業水利施設改修事業	予算科目		会計		款	項	目	☒ 主な事業		
							一般		6	1	5	☐ 国土強靱化地域計画		
施策 体系	基本施策	1	農水産業の振興		根拠法令		土地改良法及び旭市補助金等交付規則・旭市農業用排水路改修事業補助金交付要綱							
	施策の展開	2	安定した農業経営の推進		戦略事業		17	農業水利施設改修事業						
	施策の展開				戦略事業									
												☐ 新市建設計画		
												☐ 定住自立圏構想		
												☒ 主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		・老朽化した農業用排水路の改修や施設の長寿命化に取り組む団体に対する補助金の支払い。旭市農業用排水路改修事業補助金交付要綱において、工作物による改修で農業用排水路改修事業のうち土地改良区で承認したものとし、補助率は事業費の20%以内とする。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
・老朽化した農業用排水路の改修や施設の長寿命化に対する地元負担の軽減のため		・震災により、被災は受けたが災害復旧事業の適用を受けられない事業のため、国が様々な補助事業を創設。 ・地元負担の軽減のため、市への更なる支援要望がある。	・地域排水路としての機能も有しているため、土地改良区や地元農業者から、行政にも応分の負担が求められている。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (29年度の決算)		単位: 千円	
1. 仁玉川改修事業負担金	11,228	基幹水利施設ストックマネジメント事業における市の負担分	
2. 用水施設改修事業負担金	0	地域農業水利施設ストックマネジメント事業における市の負担分	
3. 農業用排水路工事補助金	3,092	農業者団体が行う農業用排水路改修に要した経費に対する補助	
② 特定財源の内訳 (29年度の決算)		単位: 千円	
1. 国庫支出金	0		
2. 都道府県支出金	0		
3. 地方債	6,500	農業水利施設改修事業債	
4. その他	0		

事業費	費目内訳	1. 仁玉川改修事業負担金	千円	7,830	15,715	4,837	11,228	23,626
		2. 用水施設改修事業負担金	千円	1,024	4,142	3,307	0	0
		3. 農業用排水路工事補助金	千円	1,810	1,008	1,327	3,092	3,000
			千円					
	事業費計 (A)		千円	10,664	20,865	9,471	14,320	26,626
	財源	1. 国庫支出金	千円					
		2. 都道府県支出金	千円					
		3. 地方債	千円	5,500	8,900	2,700	6,500	14,100
		4. その他	千円					
		5. 一般財源	千円	5,164	11,965	6,771	7,820	12,526

前年度 増減理由	仁玉川ストックマネジメント事業費の増加に伴う負担金の増
-------------	-----------------------------

従事職員数	常時	2人	最大	人 ×	日 =	延べ	0人
-------	----	----	----	-----	-----	----	----

前年度増減理由	仁玉川ストックマネジメント事業費の増加に伴う負担金の増
---------	-----------------------------

従事職員数 常時 2人 最大 人 × 日 = 延べ 0 人

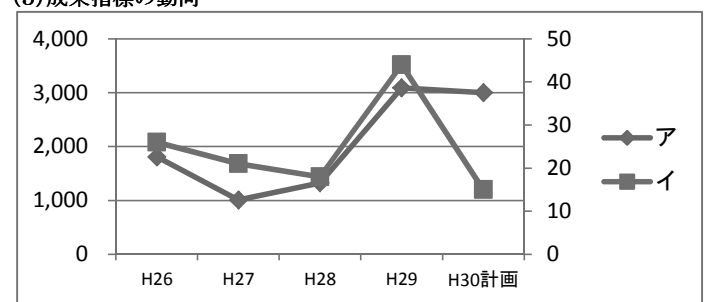
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	29年度実績 (29年度に行った主な活動) ストックマネジメント事業負担 1地区 農業用排水路改修事業補助金交付21件		ア 補助金交付件数	件	10	14	7	21	11
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	対象・受益農業者 意図・事業費が大きくなりがちな水利施設改修事業に対し、補助金等により支援することで、地元農業者への負担額を軽減し、農業経営の安定を図る。 対象意図		ア 地元農業者の負担軽減額 (補助金の額)	千円	1,810	1,008	1,327	3,092	3,000
			イ 改修工事箇所	箇所	26	21	18	44	15

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
			⑤	
評価結果	①	コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐完了 ☒順調 ☐概ね順調 ☐停滞 ☐実施困難													
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)														
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	☐数値減＝成果向上	☐向上	☐横ばい	☒低下	成果動向	比較	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	成果指標イ			☐数値減＝成果向上	☐向上	☐横ばい	☒低下	26年度		27年度	28年度	29年度	30計画		
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	干潟土地改良区管内の維持管理組合への交付件数の増加								ア	△7,378	△802	319	1,765	△92
									イ	△7	△5	△3	26	△29	
③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			今後の方向性	☐拡大 ☐縮小	☒現状維持 ☐廃止・休止	☐見直し ☐その他()							
	適宜	補助金交付申請があれば、随時対応する。			適宜	補助金交付申請があれば、随時対応する									